

第25回修行 / キックボクシングで限界突破!

修行の会

副会長 吉岡 渉

第25回目となる修行は、ビクトリージム所属瀧澤博人氏指導の下「キックボクシングの会」を開催し、24名もの会員の方にご参加いただきました。修行の会としては今期役員での運動を軸とした企画は初となったが前半約20分チャンピオンになるためのメンタル術ということでお話をいただき、後半約40分キックボクシング体験という構成で瀧澤氏がトレーニングに向き合う時の考え方や競技人生を通した様々な経験をお話しいただきました。

普段温和な表情の瀧澤氏であったが、体験の前のお手本をしていただいた際には表情がキリッと格闘家の顔となつてミットに打ち込むパンチの音が会場内に響き渡り、緊張感が高まつていき前半でお話をいただいたトレーニングの過酷さを物語るような瀧澤氏の動きを見て、これから始まるキックボクシングに参加者の目の色が変わっていききました。瀧澤氏のお手本を見て火が付いた会員さんたちは施設スタッフを加えたお二人のリードにより時間が経つにつれて声を出し



合い大きな盛り上がりを見せていました。最後に円を作つての腹筋トレーニングでは参加者一丸となつて限界突破を目指す素晴らしいキックボクシング体験となりました。キックボクシング初体験となる方が多い中、たくさんのお褒めの言葉をいただき嬉しかったとお褒めの言葉をいただき参加者の皆様に満足いただける内容となりました。修行の会では、また今後もたくさんの方の修行を企画してまいりますので、奮つてご参加ください。

川越商工会議所 青年部会報誌

鐘の音

Kane-no-ne

川越商工会議所青年部とは
平成18年(2006年)5月29日設立。川越に集う青年経済人に「互いの知性や感性を磨き合い、新たな発想や活力を生み出す場」を提供することを目的とし、次代の川越商工会議所と川越市経済界、そして埼玉県西部地域の更なる発展を推し進めていくことを念頭に活動をしています。

第77回交流会報告

令和5年10月18日、第77回交流会を東部地区主催で開催致しました。

雇用する側もされる側も参加しながら学びを深めよう!と、「雇用・採用・ハラスメントの基礎知識」という題名で全員参加型勉強会となりました。

第一部は講義と寸劇を用いての事例検討。講師は杜若(かきつばた)経営法律事務所の向井蘭先生をお迎えして実際に起こったトラブルを元に講義をして頂きました。寸劇では東部地区のメンバーが一生懸命練習した迫真の演技を披露。

青年部の皆様に事例を元にどこに問題点があるのかを考えて頂き、その後向井先生に講評を頂きました。第二部は懇親会で打ち解けながら事前に撮影した動画での事例検討。こちらはおもしろおかしくも実際に起こる可能性のあるハラスメントについて考える機会になりました。知らなければ加害者にも被害者にもなる可能性のある身近なハラスメント。インパクトのある寸劇と事例検討で得た学びを、これからの仕事や日常生活でトラブルがあった際に実際に生かして頂けたら幸いです。

東部地区幹事 根岸 紀子



卒業生リスト

事業所名	お名前 ※敬称略	グループ
川越湯遊ランド ホテル三光 (三光物産(株))	木所 裕幸	東
野村證券(株)川越支店	小城 直樹	東
(株)木村屋商店	樋口智恵子	東
スウィートエール (同)	都丸 真理	東
海鮮茶屋 南風	鈴木 康之	東
(有)長谷川	長谷川 洋	東
桜英数個別塾	櫻並 和良	西
(株)原一探偵事務所	解良 洋道	西
六三四堂印刷(株)	佐藤 道晴	南
(株)ムサン通商インテリア	宮澤 正忠	南
(株)凱旋門 (和牛焼肉 凱旋門)	片岡 儀高	北
(有)出光工務店	斉藤 哲	北
(株)三上工務所	三上 裕司	北
(有)山口油材	山口 貴正	北
欧米自動車(株)	杉田 裕一	北

次回案内

令和6年2月22日(木)18時より第27回全体協議会が、ラ・ボア・ラクテにて開催されます。第一部は今期事業に関する件、次期事業計画案・予算案を審議、及び、各地区室報告が行われます。第二部は、皆勤賞やMVPなどの表彰と恒例の卒業式が執り行われます。

卒業生に置かれては青年部の発展や調和に寄与した方々がいらっしゃいます。名簿を載せてありますが、長きにわたり青年部の顔としてリーダーシップを発揮された方々がいらっしゃいます。是非みなさんと一緒に卒業生を盛大に送り出してあげたいと思っておりますので、スケジュールを調整しご参加頂けますようお願い申し上げます。

小江戸川越ハーフマラソン 2023が開催されました

川越商工会議所 青年部 部長 篠原 隆徳

11月26日(日)に開催された小江戸川越ハーフマラソン2023において、私たち川越商工会議所青年部は総務広報部会を担当し、協賛対応、式典、ゲストランナーご対応、大会当日インフォメーション、のぼり旗の設置、そして川越汁などの様々な担当し、大会運営の中枢を支え、無事に終了させることができました。今大会はコロナ禍前の規模に戻すことを念頭に置き、ランナー・運営側の私たちも楽しんで過ごせるよう努めました。結果的には、出走者数と協賛数が前年を上回り、盛況に終えることができました。

大会を通じて、普段は余り見ることのない働く姿勢や表情などを見ることで、交流会の時とは異なる一面を多く発見することができたのではないのでしょうか。準備・運営を通し、時間を共有し、自分のためだけでなく他人のためにも動くことは、充実した時間だったのではないのでしょうか。長い期間携わってくれた大会実行委員会、一生懸命に準備に動いてくれた青年部部員の皆様、大会に参加してくれたランナー、

後集

師走を迎え今年も残りわずかとなりました。最近、忘年会には、胃薬が欠かせない年頃になってしまいました(笑)

11月に開催されました、青年部としての最大のイベント、小江戸川越ハーフマラソン2023大変お疲れ様でした。初めてスタッフとして参加しました。青年部としての概念探しをして二年。活動してみなければわからない事も沢山ありました。多くの方との出会い、またお互いにやりがいや喜びを感じ、絆とも言える「つながり」ができていくのだと実感しました。来年も微力ながらお手伝いさせて頂ければと思います。年の瀬が近づき、色々と忙しくなる時期ですが、どうかご自愛の上お過ごし下さい。今年一年ありがとうございました。情報発信室 村中由紀

川越商工会議所青年部
登録事業者数 205社
(令和5年12月20日現在)

- 川越商工会議所青年部 会報誌 『鐘の音』第78号
- 令和5年12月20日発行
- 編集・発行責任者 川越商工会議所青年部 情報発信室 副部長 奥富 将之
- 情報発信室 幹事：竹村 仁/櫻井 良樹 鈴木 寛/村中 由紀/立原 明

沿道で応援してくれた方々、そして支えて下さった各スポンサー企業様に心から感謝申し上げます。来年もまた頑張つて準備・運営し、私たち自身がより楽しむことのできる大会にしていきたいように、皆で協力していきましょう!

小江戸川越ハーフ マラソン2023

北部地区
副部長 長島 貴子

北部地区は例年同様のぼり旗の設置と埼玉日産様ご協賛の先導車・監察車・救護車の管理を担当いたしました。

のぼり旗は大会前日準備より一週間ほど早いマーケティングから始まり、今年は歴代最多となる二〇〇本のぼり旗でした。設置個所が限られているため工夫を重ね、また地区会では例年の課題を克服するべく話し合い、大会前日準備にお手伝いいただく皆様に少しでもスムーズに



行動できるよう、考えながら動くことが出来たと思います。

大会当日は警備と救護のお手伝いとして活躍しながらも、交通規制解除前には首尾よく段取りして皆様にお手伝いいただきながら例年より早くのぼり旗の撤収作業を終えることが出来ました。

反省点としては多々ありますがしっかりと次年度に残し、更に多くのご協賛にも対応できるよう努めてまいります。

小江戸川越ハーフ マラソンについて

東部地区
幹事 横田 和久

私たち東部地区は主にインフォメーションと救護を担当しています。

インフォメーションでは中央・第一ゲート・第二ゲートにあるブースでランナーからのご質問やご案内などにお応えしました。インフォメー



小江戸川越ハーフ マラソン2023

企画室
副部長 藤井 靖

企画室はゲストランナー対応ということで森脇健児さん及び吉田香織さんのアテンドをさせて頂きました。森脇さんはご自分が出走する10kmのみならず、ハーフのスタート前の選手たちのところに行きトラメガを持って大いに盛り上げて頂きました。この時期は毎週のように各地のマラソン大会にゲストランナーとして参加しているのですが、「これだけの規模でこんなに沢山のボ



ランティアがいて、献身的に活躍する大会は中々なく、素晴らしい！と言っさせて頂きました。3回目のゲストランナーとして参加頂いた吉田さんは、ご自身のハーフ完走後すぐに選手たちをハイタッチで迎え、また写真撮影にも気軽に応じていらっしやいました。終始笑顔で選手たちと触れ合う姿がとても印象的でした。

お二人ともとても良い方で、企画室メンバー一同貴重な体験をさせて頂きました。

小江戸川越ハーフ マラソン2023

情報発信室
副部長 奥富 将之

情報発信室は実行委員会と青年部を繋ぐ窓口部分を多く担当させて頂きました。

なかなか情報発信室員には仕事振ることが出来ずに申し訳ないかと思っております。

往々たるメンバーがおりますので次回大会の際には、色々アイディアなどを出しどんどんバージョンアップしていつてもらいたい、いきなりたいと思っております。

小江戸川越ハーフ マラソン2023

西部地区
副部長 工藤 貴紀

西部地区では、川越汁の調理と配布をおこないました。

今年は暖冬と世間では言われておりましたが当日は小雨も降り気温が4℃と今年一番の寒さでの開催となりました。総勢約1,000人余りのランナーに配布するため、日の出前の4時30分から西部地区会員のみなで感染症対策をして調理しました。

配布には、女子栄養大学と東京国

大会の総括としては、コロナ禍前に戻すと実行委員長命もありましたので過去大会を振り返り各分野の皆様は大変だったと思います。

大変だったからこそ『おもい』は一人一人違うものと思います。

「良い悪い、大きい小さい」その『おもい』を青年部として今後どう表現していくかが次回大会に繋がっていきます。

大会準備や当日運営に携われなかつた方も居ると思います。

そういった方々にも、今回皆さんが感じた『おもい』を共有し、大会にエントリするランナーよりも楽しんで準備・運営出来るような青年部だと思っておりますので、是非来年もご協力宜しくお願い致します！

を盛り付けてもらいました。

森脇健児さんや吉田香織さんにも直接ブースにお越しいただき、川越汁を振舞うことができました。

お話を伺いするとゴール後にこのようなことをしている大会はないよと労いの言葉をいただきました。多くのランナーからも感謝の言葉を言ってもらえました。

今年も15個の寸胴に用意しましたが、あつという間に、足りなくなりそうになり、ヒヤヒヤしました。来年はより多くの方々にあたたかなお湯を提供したいと思えます。



小江戸川越ハーフ マラソン2023

南部地区
副部長 岡本 崇

南部地区の小江戸川越ハーフマラソンでの主な役割はステージ運営です。ステージでは開会式、表彰式、ゲストランナーによるトークショー、2025年東京マラソン抽選会と4つの企画を行いました。司会はお馴染みのはっちゃん、みかねえです。今大会はコロナ禍以降初めての表彰式を行いました。表彰式は各部門(18部門)1〜3位の方に登壇頂きプレゼンター(副市長及び副会長頭4名)より表彰状、メダル、花束の授与を行います。今大会で今までと大きく違ったことはWEB記録証になったことで入賞ランナーのピックアップが出来なくなったことです。今までは記録発行所で記録証が発行されたの



で、その場で入賞者の方をピックアップしステージまで連れていくことが出来たのですがWEB記録証になったことで記録発行所が無くなり、ランナー各自順位を確認して自発的にステージに来て頂くことになりました。入賞対象者が表彰時間内に集まるか心配しておりましたが結果的にはほぼ全ての部門が時間内に集まってくれて表彰式を時間内で進めることが出来ました。初めての形の表彰式はひとまず成功であったと思っております。しかしながら反省改善点は多く、先日の地区会でも意見を申し合いました。これらを活かして次大会ではよりスムーズに表彰式を進行できるようにしていきたいと思っております。

